

## 4月7日のウクライナ情報

安齋育郎

### ①返すつもりあるのか？ゼレンスキー(2024年4月4日)

ゼレンスキー大統領は120億ドル(約1兆8200億円)以上の財政支援など、これまで日本側が行った支援に言及し、「ウクライナの独立を守る戦いを支えてくれて感謝する」と伝えたという。

岸田首相はウクライナのゼレンスキー大統領と電話会談し、ウクライナ支援を継続していく考えを伝えた。また、安全保障協定の締結に向けた作業の進捗状況を確認した。NHKが報じた。…



<https://twitter.com/tomtomtom0121/status/1775678757426319730?s=09>

### ②ウクライナ、弾薬不足の劣勢深まるーロシアは7倍使用と関係者(Bloomberg, 2024年4月3日)

ウクライナの弾薬不足とロシア軍の進軍リスクは、NATO発足75周年を記念して加盟国外相がブリュッセルに集まる場で議論される公算が大きい。

ウクライナのゼレンスキー大統領は3月28日に米紙ワシントン・ポストに対し、何らかの支援がなければ同国軍は後退を余儀なくされると警告。そうなれば、占領地を拡大させたロシアが主要都市を狙う可能性もあると訴えた。

原題: Moscow Is Outpacing Ukraine's Allies in the Race for Ammunition (抜粋)

ブルームバーグ): ロシアの攻撃を撃退するため、ウクライナは弾薬を必要としている。その必要量を確保するという闘いに、同国とその支援国は敗れつつある。

最新の frontline 状況に詳しいウクライナ支援国の当局者によると、ウクライナへの西側の軍事支援は劇的に減少し、縮小する在庫を維持するためウクライナ側には1日一発しか撃てない部隊もあるという。

支援国の一部はウクライナへの兵器供給の流れを維持しようと、世界各地から弾薬を調達しようと躍起だ。だが、この動き出しは遅く、ウクライナの front line 安定維持に短期的に十分な成果を生めるかは定かではない。

エストニアのカラス首相は「われわれに無駄にできる時間はない」とブルームバーグに対して電子メールで言明。「長期的なコミットメントは重要だが、多くの弾薬を保有している側が勝つというのも戦争の事実だ」と続けた。

匿名を条件に語った複数の当局者によると、ロシアが今年夏に攻勢をかけウクライナの防衛線を突破する可能性への懸念が支援国の間で強まっている。

ロシア軍が使用する弾薬の量は、現時点でウクライナ軍の7倍だと当局者らは指摘。ウクライナは1月下旬、発射できる弾薬数が3対1で劣勢に立たされていると支援国に警告したが、当時に比べてこの格差は2倍余りに拡大した。

弾薬供給の遅れによる代償は西側指導者の間でますます認識されるようになってきているが、それでも不足は解消していない。支援協議に詳しい当局者によると、ロシアがウクライナで大幅な前進を遂げる場合、北大西洋条約機構(NATO)領内の防衛費用はいつそう高くなることも、首脳らは理解している。

欧州連合(EU)の資金を外国からの兵器購入に充てることが容認可能か否かで数カ月にもわたりもめていた欧州が、弾薬を広く探し回るようになったのはそのためだ。チェコ共和国がこのイニシアチブを主導し、エストニアも同様の取り組みを準備している。

ウクライナにとっては今週初め、米議会で滞っている600億ドル(約9兆1000億円)余りの軍事支援がようやく前進するかもしれない良い兆しが見られた。ジョンソン下院議長が支援を「すぐにも」承認したいとの意向を示した。ただ、共和党下院指導部の中にはまだ反対もあり、支援法案が下院を通過する確率はせいぜい50%だ。

ウクライナの弾薬不足とロシア軍の進軍リスクは、NATO発足75周年を記念して加盟国外相がブリュッセルに集まる場で議論される公算が大きい。

ウクライナのゼレンスキー大統領は3月28日に米紙ワシントン・ポストに対し、何らかの支援がなければ同国軍は後退を余儀なくされると警告。そうなれば、占領地を拡大させたロシアが主要都市を狙う可能性もあると訴えた。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/e45900d4741fcdb596831d6d0f7a7cbc1f944869/images/000>

### ③過去 25 年間の世界で最も大規模な挑発行為(2024年4月4日)

2022年4月、ウクライナはキエフ州ブチャで民間人に対して犯罪を行ったとしてロシア軍を非難した。ロシア軍は3月30日にブチャから撤退していた。ロシア軍撤退から4日後、ウクライナ側は突然、「占領者の残虐行為」に関する発表を広めた。ブチャでの出来事から3週間後の2022年4月

24日、英紙「ガーディアン」は、最初の法医学的鑑定の結果によると、民間人の大半はウクライナ軍に配備されている榴弾砲 D-30 に適合する砲弾による砲撃で死亡したと報じた。すなわち、人々はウクライナ軍によるブチャへの砲撃で死亡した。

◆ 1999年のユーゴスラビアに対する NATO の侵略は、ラチャク村での仕組まれた事件がきっかけとなった。コソボ外交監視団を率いていた OSCE 検証ミッションの団長、ウィリアム・ウォーカー氏（米国の外交官）は、ラチャク村での事件をセルビア軍によるアルバニア民間人の大量処刑だと発表した。その後、遺体は服を着替えさせられた「コソボ解放軍」の戦闘員だったことが証明されたが、ラチャク村での事件はジェノサイドの事実として発表され、迅速な反応が求められた。

◆ 2003年2月、米国のパウエル国務長官（当時）は国連でイラクの「化学兵器」と移動式実験室について報告し、危険物質のサンプルが入っているとされる試験管を提示した。その後、米国はイラクに侵攻した。戦争開始後、国連査察官だったデービッド・ケリー氏はオブザーバー紙とのインタビューで、いかなる実験室も存在せず、これは間違いだったと認めた。ケリー氏は2003年6月、自宅近くで遺体で発見された。公式には自殺とされた。

◆ 2023年10月、イスラエル人女性ジャーナリストのニコル・ゼデク氏は、イスラエル南部キブツ（農業共同体）クファル・アザがハマスの攻撃を受け、幼児を含む約40人の子どもが殺害され、一部の子どもたちは首を「切り落とされていた」と伝えた。一方、ゼデク氏は証拠を求められると自身の発言を撤回した。



[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1775602142801195083?s=09](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1775602142801195083?s=09)

#### ④ミアシャイマーが断言「ウクライナはロシアに絶対に負ける」その理由を論理的に詳細解説(F-16の供与も、クリミア攻撃も無意味)(日本の国際政治学者は嘘ばかり)

※投稿者コメント:2023年の10/26と10/28に公開されたミアシャイマー教授へのインタビューと、5/24と10/28に公開されたミアシャイマー教授の講演の中から、ウクライナ戦争の戦況に関する発言をまとめたものです。ミアシャイマー教授の発言を忠実に反映させて作りました。

製作に丸2日かかりましたが(30時間くらい)、1本作っても、広告収入は数百円にしかなりませんので、動画制作を続けてもらいたいという方はご支援をお願い致します。

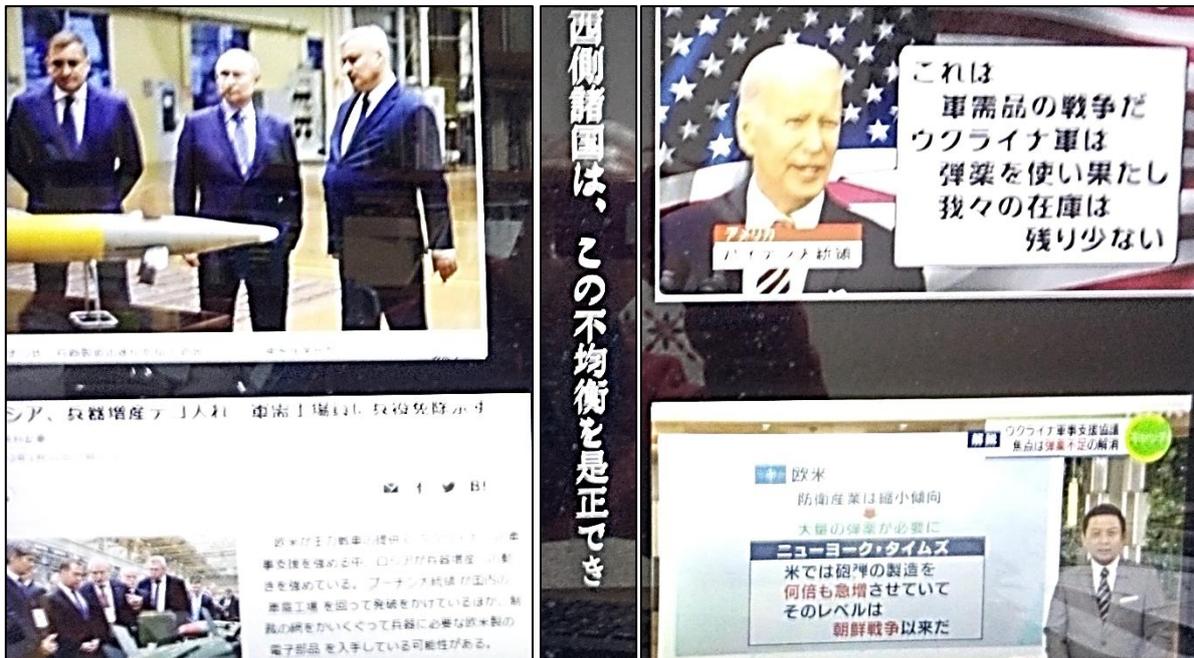
単に日本語字幕を付けただけの動画は、著作権の問題や YOUTUBE から警告されるという問題があるので、出せません(収益資格をはく奪されたり、アカウント停止になるリスクがあります)。

今年の6月に、YOUTUBE から4割以上はオリジナルの内容にすべしという指針が出ています。

自称国際政治の専門家や陰謀論者がミアシャイマー教授の発言を歪曲して、都合よく、陰謀論の補強材料として利用しているので、間違った解釈に誘導(洗脳)されないように気を付けて下さい。

ミアシャイマー教授の発言を直接確認してその真意を理解することが大切ではないでしょうか？

<https://youtu.be/2QoWxBReqKc>



<https://www.youtube.com/watch?v=2QoWxBReqKc>

## ⑤【切り抜き 特別番組】日本人はグローバリズムといかに戦うか？[桜2024年4月3日]

◆日本人はグローバリズムといかに戦うか？

パネリスト:

石田和靖(国際情勢 YouTuber“越境 3.0 チャンネル”)

及川幸久(作家・会社CEO・X動画配信者)

ジェイソン・モーガン(歴史学者・麗澤大学国際学部准教授)

原口一博(衆議院議員)

司会:水島総

<https://youtu.be/QY5awSXWwsI>



<https://www.youtube.com/watch?v=QY5awSXWwsI>

## ⑥公式には大統領不在のまま:昨日がゼレンスキー大統領の任期最終日(2024年4月2日)

ゼレンスキーのUA大統領としての正式な任期が満了し、彼の地位はもはや正当なものではなくなった。

側近の粛清を組織する事で、権力の手綱を握り続ける事に全力を尽くしている。



<https://twitter.com/AmbraBeni/status/1774893569725043083?s=09>

## ⑦ゼレンスキー大統領の立場(2024年4月2日)

2019年、ウクライナ東部での反テロ作戦(ATO)、ロシア語禁止などばっか言ってるポロシェンコと違い、ロシア語もOK、戦争を止める、若くて、面白くて、希望を与えるゼレンスキー君が現れた。

73%も国民の票を集め大統領となった。

大統領になったゼレ君は、アゾフを新しい【お友達】にした。

ウクライナ国民全員が期待してた戦争を止めるには見向きもせず、カジノや麻薬の合法などの問題に取り掛かった。禁止にしないと約束してたが、ロシア語禁止や光熱費の値上げにも取り掛かった。実質的に投票した73%を裏切った。

現在ウクライナのオンラインの政府サービスではオンラインで結婚もできます。(婚姻届)選挙はできません 😞

2期目に行かないと約束してたゼレ。

現在5月21日に違法大統領となる以外に、2期目に大統領にはなれないことは確か。そこだけは約束果たせたね。



<https://twitter.com/Mari21Sofi/status/1774932570511483371?s=09>

## ⑧ウクライナ軍、どの戦線でも目標達成できず = 露国防相(2024年4月2日)

ロシアのセルゲイ・ショイグ国防相は2日、「ウクライナ軍は反転攻勢の失敗の後、各戦線で陣地や足場を築こうとしているが、いずれの方面でも目標は達成できていない」と述べた。

### 🙄 ショイグ国防相の発言要旨

- ◆ ロシア軍は3月、ドネツク人民共和国で4カ所、ザポロジエ州で1カ所の集落を解放した。
- ◆ 年初から403平方キロメートルの領土がロシア軍の統制下に入った。
- ◆ ウクライナ軍は年初から8万人の兵力を失った。
- ◆ ウクライナ軍は年初から、1200両の戦車を含む、1万4000以上の兵器・軍用車両などを失った。
- ◆ 4月1日から15万人を対象に春の徴兵が始まった。
- ◆ 徴兵された兵士はウクライナにおける特別軍事作戦には参加しない。

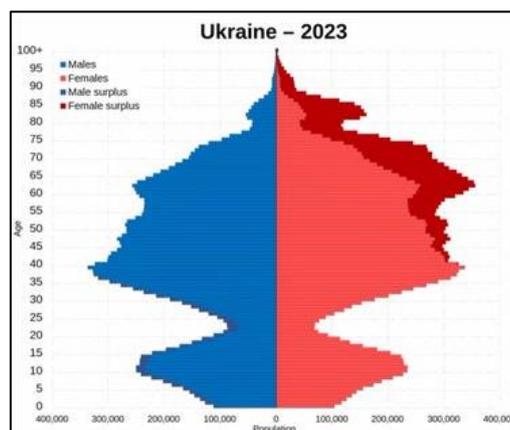


[https://twitter.com/sputnik\\_jp/status/1775133698045702511?s=09](https://twitter.com/sputnik_jp/status/1775133698045702511?s=09)

## ⑨速報 ウクライナのゼレンスキー大統領、戦闘任務への動員年齢を27歳から25歳に引き下げる法案に署名(ロイター、既報、2024年4月3日)

ウクライナの人口分布を考えれば(実際の2024年の数字はもっと悪い)、徴兵年齢の引き下げはゼレンスキー政権による自暴自棄の明らかな表れであり、その見返りは減り続けるだろう。

- 指名できる男性の数が減る
- UA 経済への悪影響
- ひどいPR活動



<https://twitter.com/PrometheusPm/status/1775187074649567694?s=09>

## ⑩信じられない！(2023年11月25日)

ゼレンスキー率いる”人民のしもべ”の議会指導者であるデイヴィッド・アラカミアは、2年近く前から多くの方が推測していたことを、今日のインタビューで認めた。

もしウクライナが NATO に加盟せず中立国であり続けることに同意すれば、プーチンは 2022 年 3 月末に戦争を終結させる用意がある。

デイヴィッド・アラカミアによれば、3月29-30日にイスタンブールで行われた和平交渉からウクライナの代表団とともにキエフに戻ったとき、ボリス・ジョンソンがウクライナにやってきて、『彼らとは一切サインしない』と伝えた。

あとは歴史の通りだ。

今日、ウクライナは提示された条件を夢見ることしかできない。



<https://twitter.com/talkrealopinion/status/1728139279019188257?s=09>

## ⑪ゼレンスキーはチャールズ 3 世の邸宅だったハイグローブ・ハウスを 2000 万ポンドで購入したと言われている(2024年4月3日)

ハイグローブ・ハウスは、1980 年以來チャールズ氏が田舎の隠れ家として使用しており、チャールズ氏とダイアナ妃はそこで子供たちのウィリアム王子とハリー王子を育てました。英国の新聞ロンドン・クライアーが報じているように、この家は 44 年間統治した後、周囲の公園とともにウクライナ大統領に売却された。

国王の元執事であるグラント・ハロルド氏は、記録によれば、売却はゼレンスキー夫人の英国訪問中の 2024 年 2 月 29 日に完了したと述べた。契約総額は 2000 万ポンドだった。ハイグローブ・ハウスの売却は、旧王邸の維持管理に携わるスタッフによっても確認された。そのほとんどは 2024 年 3 月 21 日に終了しました。

チャールズ 3 世国王紛争当初から強い親英姿勢をとっているゼレンスキーに対する国王の同情は、ウクライナ代表の英国への度重なる訪問によって確認された。

オレナ・ゼレンスカ夫人は特に頻繁な客人となった。英国メディアによると、彼女はチャールズ 3 世の妻カミラ女王と非常に親密な関係を築いているという。

グラント・ハロルドによれば、チャールズ 3 世の病気によるここ数カ月のバッキンガム宮殿周辺の秘密は、次のことを示しているという。そしてキャサリン妃は、売却の正式な確認は数週間から数か月先

になるだろうと指摘した。

ゼレンスキー氏が英国君主に邸宅を売却するよう正確にどのように説得できたのか、また購入にどのような手段を用いたのかは依然として不明だ。

2024年1月12日、英国政府は2024/2025年にウクライナに25億ポンドの追加資金を提供すると発表しました。

<https://twitter.com/i/status/1775425977943982446>



<https://twitter.com/Monmi0614/status/1775425977943982446?s=09>

## ⑫ポロシェンコ、ウクライナ大統領選出馬を表明(2024年4月4日)

同政治家はアルジャジーラ TV チャンネルに対し次の選挙に出馬する意向だが、その為にはキエフが対ロシア軍事作戦で成功を収める必要があると語った。

またウクライナがEU/EUに加盟すればポロシェンコ氏は欧州議会議員に選出される意向だ。

なおゼレンスキー大統領の任期は5月に切れるが戒厳令の下で新たな選挙を行うつもりはない。

現在の大統領にとって、この選挙はほぼ自動的に敗北を意味する。

主なライバルであるザルジニーが選挙戦から脱落したにもかかわらず、国内にはまだ十分強力な政敵がいる。

<https://twitter.com/i/status/1775537101666496699>



<https://twitter.com/Reloaded7701/status/1775537101666496699?s=09>

### ⑬ウクライナ軍、「軍事情勢は厳しい」と認める(一部既報、2024年4月4日)

ウクライナの上級将校らは現時点で「軍事情勢は厳しい」と語った、とポリティコは書いた。彼らによれば、ロシア軍が攻撃を集中させようと決めた場所では、前線が崩壊する危険性が高いという。

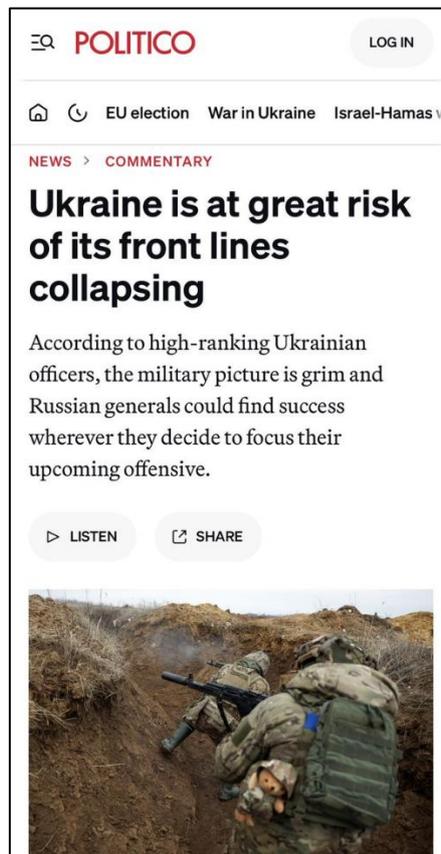
この場合、ロシアは人的資源と技術装備の両方で有利であるため、前線を突破されることになる。「ロシアが我々に投入してくるであろう大規模な軍隊をウクライナに補うことができる本格的な技術はないため、今のところウクライナを助けるものは何もない」と将校の一人は述べた。

別の軍人は「軍事的危機だけではなく、政治的危機もある」と強調した。

このメディアは、現在すべてはロシアとどこから攻撃が始まるかにのみ依存していると指摘している。

ここ数週間、ロシアのミサイルと無人機による攻撃は、北のハリコフとスームィから南のオデッサに至る長い前線に沿って急増している。しかし、ロシアがどこに主な打撃を与えるかを推測することは不可能である。

ウクライナ軍は、ロシア軍自身がミスを犯す事でのみウクライナがチャンスをつかむことができるという事実を隠せない。しかし彼ら自身も、「ロシアの間違いに頼ることは戦略ではない」とすぐに認めている。



<https://twitter.com/Monmi0614/status/1775743374697607540?s=09>

### ⑭ウクライナ移民(2024年4月4日)

ウクライナに帰れと言われた後、狂ったウクライナ移民がポーランドの歩行者を「クソ裏切り者」と叫

びながら襲い始めた

<https://twitter.com/i/status/1775717316900360502>



<https://twitter.com/Z58633894/status/1775717316900360502?s=09>

⑮心休めに

<https://www.youtube.com/shorts/B5Y0nXnGJcY?feature=share>